

国際関係論基礎

早稲田大学政治経済学術院
多湖淳

国際関係論基礎の狙い

- この授業では、国際関係 (INTERNATIONAL RELATIONS) とは何かを理解するとともに、より高度な専門授業への入り口を提供します。
- たとえば、「3つのイズム (REALISM, LIBERALISM, CONSTRUCTIVISM)」や戦略的相互作用 (STRATEGIC INTERACTIONS) といった国際関係を分析・理解するための多様なレンズを学ぶほか、国際関係の具体的な紛争や協力事案をわかるための世界史的な知識、現在の 国際関係の争点にかかわる基本的な情報など、**国際関係論の基礎知力をつけます。**

ルール

根拠のある議論をしよう

- 根拠を大事にしたいと思います
- 根拠には、経験的なもの、論理的なものがあります
- 政府の政策が妥当なものかを考えるためにも、その前提を疑ったり、その基底的な主張に異論をはさむことも根拠がある限りします

予習と復習、そして試験

- 各回の講義の前に必ずテキストの該当箇所を読んで予習して講義に臨む
- **試験は残念ながら厳しいです**（オンラインで実施しますからコピペはすぐ判別されちゃいます）

過去、私語が多かったと聞きました。ですので、周囲に悪影響のある私語をする方は適宜、退去指示を出します。退去後は「反省の意思」を教員に有効に伝達できない限り、授業に出てこなくて結構です（なお、単に「今度はしません」と言うのでは有効な反省意思情報伝達はできないと思います）。

教科書について、など

「ナイ・ウエルチ」

J・S・ナイ・JR／D・ウエルチ

『国際紛争：理論と歴史』（有斐閣）

- 良い面
アメリカのIRの学部イントロ教科書
- 悪い面
歴史が重視された教科書ながら、視点が、理論があまり深掘されていない

- 毎日、新聞を読んでください（紙がいい）
- BS1のNHKニュースはお勧めです
- BBC、CNNあたりは定期的に見てください
- ジュンク堂のような品のある本屋に定期的にいて、何が並んでいるかみてください
- 教科書にもたくさん嘘は書いてありますから見極める目をもってください
- 教員もたくさん嘘（間違い）を言いますから、しっかり質問し、指摘をし、訂正してください

おすすめの学び方① (TED)

Googleで「Dan Ariely TED」と検索。

https://www.ted.com/talks/dan_ariely_asks_are_we_in_control_of_our_own_decisions?language=ja



おすすめの学び方② (MONKEY CAGE)

Googleで「Monkey Cage」と検索。

ワシントンポストの政治系専門ブログで、月に5回までは無料で閲覧できる(月5回も読めば十分)

The Washington Post

Monkey Cage

Why Putin and Obama use fighting words when they don't want to fight

By Shoko Kohama, Kazumori Inamatsu and Atsushi Tago September 28



Thanks for the feedback! Undo
We'll use your feedback to review ads on this site.
Help us show you better ads by updating your ad settings.

Google

Most Read

- 1 Washington Post-ABC News poll: Clinton holds four-point lead in aftermath of Trump tape
- 2 Clinton has some big challenges in final debate. None involves discrediting Trump.
- 3 Group accuses Mike Pence of voter suppression after state police raid

アウトライン

歴史

- 「前提」を知りましょう
- コンテキストの無視できる政治はありません
- 歴史と言えば、Y・N・ハラリ『サピエンス全史』はとてお勧めです
- 歴史史料・資料をデータに変えていくところに 多湖のひとつの専門があります(＋いまは実験)

理論

- 理論があれば予測もできます(できるはず)
- なぜ事象が起こるのか、起こらないのかを説明できる人になりましょう
- 理論と言えば、ゲーム理論は有益なツール
- 反証可能性がある理論について話しましょう

MAY THE HISTORY AND THEORY BE WITH YOU, ALWAYS.



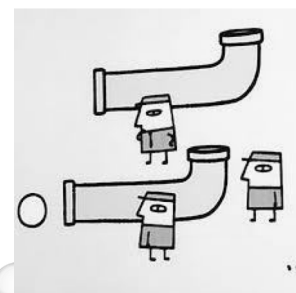
授業で行いうること

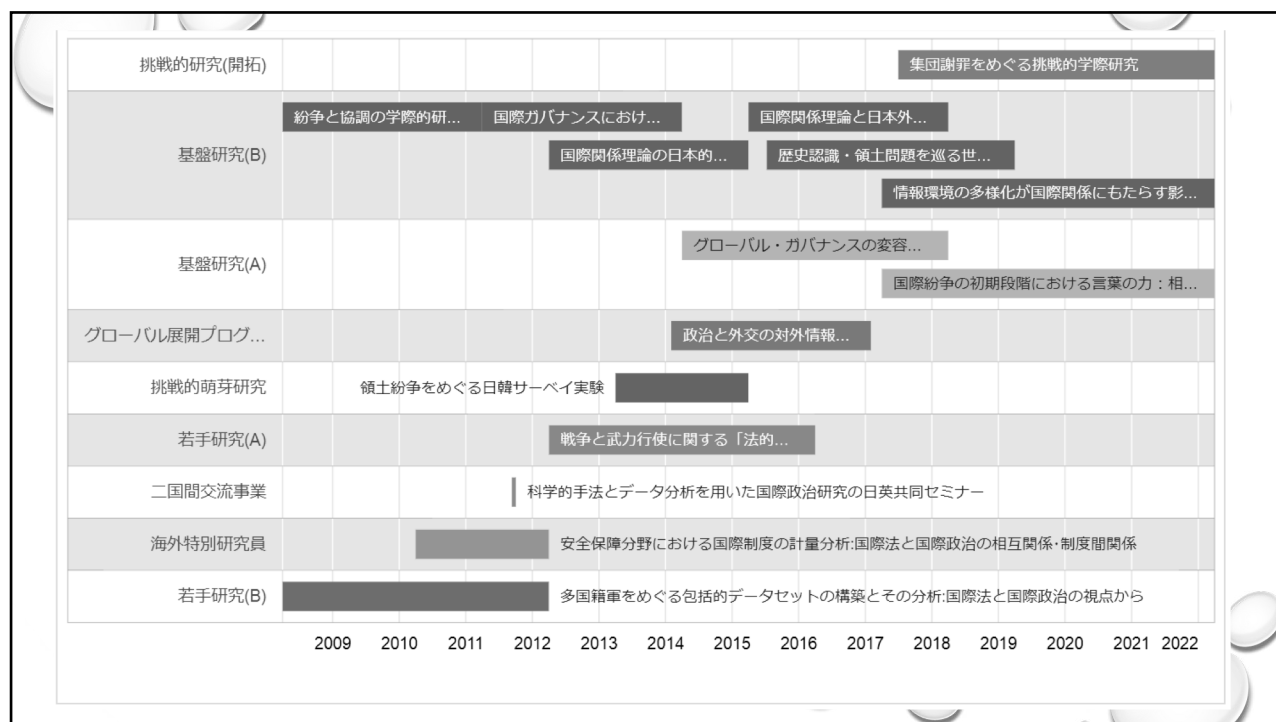
講義

- スライドのほか、イタガキで講義をします
- なお、多湖は実はスライドが嫌いです
＝君たちが寝るから＋脱線できないから

アクティブラーニング

- QUALTRICS(調査のためのプラットフォーム)を用いた意見収集と議論
- 一緒にデデニオン





第1回:イントロダクション、国際関係のパラダイム(テキスト第1章)

授業の目的と構成、「国際関係論とは何か」、隣接分野との関係等について説明する。

第2回:国際関係をとらえる多様なレンズ(テキスト第2章)

国際関係論・国際政治学の諸理論の概要と基本概念について講義する。

第3回:戦略的相互作用としての国際関係

授業で用いられるゲーム理論のモデルについて基礎的な概念を講義する。

資料:鈴木・岡田『国際紛争と協調のゲーム』有斐閣、第1章

第4回:国際関係史(1)ウェストファリアから第一次世界大戦(テキスト第3章)

近代国際関係の成り立ちと第一次世界大戦までの国際関係について講義する。

第5回:国際関係史(2)集団安全保障の挫折と第二次世界大戦(テキスト第4章)

集団安全保障体制や第二次世界大戦までの国際関係について講義する。

第6回:国際関係史(3)冷戦(テキスト第5章)

米ソ冷戦が国際関係に与えた様々な影響について講義する。

第7回: 合理的戦争原因論、民主的平和論とその対抗的議論

合理的戦争原因論、民主的平和論とその対抗的議論を概観する。

資料: 砂原ほか『政治学の第一歩』有斐閣、第10章

第8回: 内戦、テロリズム、非国家主体

内戦やテロリズムに関する国際関係論の代表的な研究を紹介する。

資料: 砂原ほか『政治学の第一歩』有斐閣、第12章

第9回: 国際政治経済

国際政治経済をめぐる諸理論・論点をカバーする。

資料: 砂原ほか『政治学の第一歩』有斐閣、第11章

第10回: グローバリゼーションと国際関係(テキスト第8章)

グローバリゼーションが国際関係に与える影響の諸側面について講義する。

第11回: 情報革命と国際関係(テキスト第9章)

情報革命による国際関係が受けている様々な影響と概念(例、ソフトパワー、パブリックディプロマシー)を講義する。

第12回: 現在の引火点(テキスト第7章)

教科書を参照しながら国際関係のリスク要因について分析と議論を行う。

第13回: オンライン試験

国際関係とは何か

国際関係を定義してみてください

- ・ 狭い定義

strategic interaction between nations.

- ・ 広い定義

国際関係論に隣接する学問とは？

- ・ 政治学という入れ物の中で
- ・ 歴史学、法学、経済学
- ・ 心理学
- ・ 医学

Strategic interaction between nations and other entities.

**NGO – Amnesty International, Huawei, Toyota
(International companies), etc.**

例、なぜ内戦がおこるのだろうか

内戦を定義してみてください

- 例をまずは挙げてみましょう
- 定義

内戦の原因とは？

- あなたの挙げた「原因」は本当に原因になっているだろうか？
- 確率論的な理解をしてほしい

例、なぜ平和が生まれ、維持されるのだろうか

平和を定義してみてください

- 例をまずは挙げてみましょう
- 定義

平和の原因とは？

- あなたの挙げた「原因」は本当に原因になっているだろうか？
- 平和の中身は時代でも変化していく、、、